

ペたん!ペたん!元気に餅つき

12月16日(火)、河北小学校で餅つき大会が行われました。

当日は臼と杵を使い、友だちや地域の方と声を掛け合いながら元気よく餅をつく姿が見られました。つき上がった餅は、きなこやあんこで味付けされ、みんなでおいしく味わいました。

児童は「杵が重くて餅をつくのが難しかったが、みんなで協力して食べられてうれしかった。」と感想を述べていました。

今回の体験を通して、児童たちは食の大切さや地域の支えに感謝する気持ちを学ぶ貴重な機会となりました。



『かみのくに
トピックス』



函館地方法務局主催『人権ポスターコンテスト』において上ノ国小学校夕刊部が優秀賞を受賞しました。このコンテストは、次代を担う小・中学生が人権尊重の理念を理解し、一人生がひとりが人権についなることを目的として毎年実身に付けることによって、豊かな人権感覚を育むことを目的としたものです。2月6日(金)までにトピックスをご覧ください。

9名が受賞! 人権ポスターコンテスト



今年、大阪の大学に通う小林聖宣さんが(株)ワカサ商事で2聖日間の地域貢献活動を行いました。小林さんは「地元企業の活動に参加でき、貴重な経験になつた。将来は地元で働きたい」と話しました。本事業の意義を感じる機会となりました。

ふるさとを支える現場で学ぶ 地域貢献活動



かみのくにサンタがやってきた! 上ノ国保育所クリスマス会

12月24日(水)、上ノ国保育所でクリスマス会が行われました。

会場にカミゴンとサンタクロースが登場すると、子どもたちは大喜び。会場は一気にクリスマスマードに包まれました。サンタから一人ひとりにプレゼントが手渡され、子どもたちは笑顔で「ありがとうございました。さらに「サンタが街にやつてくる」の曲に合わせ、元気いっぱいのダンスを披露し、会場には手拍子と笑い声が広がりました。一足早いクリスマスを満喫し、心温まる楽しいひとときとなりました。